

## 編集後記

2020年最後の月となりました。神経化学59巻2号をお届けします。今年は、新型コロナのパンデミックが発生し、現在も猛威を奮っております。日本における1日の新規感染者が2000名を超える日もあり、楽観できない状況が続いております。この一年の学会活動を振り返って、小泉修一先生が理事長挨拶をご寄稿くださいました。

コロナの影響もあり、今年の第63回日本神経化学学会大会は、初のオンライン開催となりました。馬場広子大会長をはじめ関係の皆様のご尽力により、素晴らしい大会となりました。本大会の開催について、馬場大会長、山口宣秀実行委員長が大会後記としておまとめ下さいました。また、石橋智子先生、大谷嘉典先生からは、若手研究者育成セミナー開催の報告をいただきました。本大会で奨励賞を受賞されました竹村(森田)晶子先生、長井淳先生には、それぞれの研究内容のご紹介をいただいております。若手道場優秀発表賞の受賞者の声も掲載しております。本号では、新企画「私と神経化学」を4件掲載しております。遠山正彌先生、井上和秀先生、鍋島俊隆先生、東田陽博先生、いずれの先生も素晴らしい文章を書かれております。日本神経化学学会をより深く知り、活力をいただける文章です。是非ともご一読ただけましたら幸いです。本年、惜しくも急逝された吉田慶太郎先生の追悼文を、平山友里先生にご寄稿いただきました。改めて吉田慶太郎先生のご冥福をお祈り申し上げます。来年2021年8月に開催が予定されていたISN-APSN京都大会が、2022年に延期されたことを受けて、第64回日本神経化学学会大会は、奈良にて単独開催されることになりました。奈良大会のお知らせを和中明生大会長にご紹介いただいております。お忙しい中、ご寄稿いただきました全ての先生方、編集に関わって下さった方々に、心より感謝申し上げます。

会員の皆様の中には、たいへんな状況をお過ごしの方もおられることと思います。このような状況でも、健康にご留意されながら、ポジティブな気持ちを持って、日々の活動を行っていかれますことを心より祈っております。そして、新型コロナウイルスのワクチン開発も進んでおりますので、2021年が明るい年になりますことを願っております。

竹林浩秀 (新潟大学)

公式アカウントによる Facebook を始めました。

<https://www.facebook.com/694342057338890/>

学会からの情報 (大会開催・公募情報・学術集会等) や記事 (神経化学トピックス・研究室紹介等) を随時配信していきます。

是非、「いいね!」をクリックして下さい。

皆様からの情報もお待ちしております!



QRコードからも  
アクセスできます